

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	2542
部名	市民部	課名	戸籍住民課	課長名	斎藤
事務事業名	住居表示維持管理事業				
予算上の事務事業名	住居表示事務運営費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード				
基本目標					
政策名					
基本施策名	事業開始年度				
施策名	昭和63年以前 ▼				
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
住居表示に関する法律 相模原市住居表示に関する条例					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
住居表示実施地区における事業効果を確保する維持管理を行う。			住居表示実施区域内 新築建物等 一般市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
住居番号設定 新築建物について、概ね完成1ヶ月前に現地調査し住居番号を設定した。設定件数 2793件 街区表示板の維持管理 街区表示板について、現状を調査し老朽化した表示板を更新した。 設置枚数 250枚(麻溝台1丁目ほか) 街区案内板の維持管理 街区案内板について、老朽化した案内板を撤去した。 撤去数 20基(旭町8ほか)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県下では18市4町で実施					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	3,210	2,440	2,252	2,058	2,100
一般財源	3,210	2,440	2,252	2,058	2,100
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,678	1,602	2,421	2,421	2,421
事業コスト合計(a)	4,888	4,042	4,673	4,479	4,521
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	住居番号設定業務		対象名称 (単位)	設定件数	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	2,335	2,243	3,182	3,372	3,372
対象数	2,505	2,611	2,793	2,800	2,850
単位あたり経費(円)	932	859	1,139	1,204	1,183
前年度比		0.92	1.33	1.06	0.98

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	住居表示地区の街区数 (街区)	指標式と指標の説明	維持管理対象の街区数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	6,445.0	6,531.0	6,912.0		
目標	6,445.0	6,531.0	6,912.0	7000	7000
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	住居番号の設定件数(件)	指標式と指標の説明	新築建物等に設定した住居番号の件数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	2505.0	2611.0	2793.0		
目標	2505.0	2611.0	2793.0	2800.0	2850.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 住居番号の枝番設定に当たっては、対象住民の受益者負担を採用しており、パートナーシップの原則により対応している。			14 課題として認識されたこと 住居表示実施後に再造成(ミニ開発)され、同じ住居番号の事例が多く生じている。この為、平成17年4月から住居番号の設定に際して枝番号制度を導入し、当該市民の希望に基づく対応を図ったところである。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			